

令和5年度
輸出環境整備推進事業のうち
「輸出先国の主要輸出障壁の実態調査、データ収集等事業」
(インド向け緑茶輸出に係る規制等調査委託事業)

報告書（公開版）

Nomura Research Institute Consulting and Solutions India Private Limited
(NRI India)

2024年3月15日



インド緑茶市場調査パート

インド市場調査（茶製品）

スパイスや砂糖入りミルクティーのチャイはインド全体で伝統的な飲料として、日常的に飲まれている一方で緑茶は都市部や、健康意識の高い若者をメインとしたニッチセグメントに飲まれている

茶製品に関する嗜好

生産量
需要 輸入量
輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

茶製品に関する嗜好

家庭内での茶製品に対する考え方

- 国民の大多数が、スパイスや砂糖入りのミルクティーであるチャイ（主に、バッファローやゴートミルク）を混ぜたミルクティを家庭で鍋で混ぜて作っているが、作ることに手間がかかることから、最近では粉のインスタントチャイやティーバッグ製品も多く出てきている
- 緑茶製品はまだニッチセグメントで、多くの緑茶消費者は都市部在住の若者が多く、簡単に飲むことが可能なティーバッグを好む



チャイ



緑茶ティーバッグ

レストランやテイク・アウェイにおける提供する方法

- ストリートで販売されているチャイは一杯約20（INR）程度で、小さめの紙コップにて販売
- 「Chaayos」や「Chai Point」のような飲食チェーンで茶商品の人気が高まっている
- カスタム可能なチャイやご飯を提供しており、一杯約100（INR）以上と、ストリートのチャイと比較すると高いが、都市化と工業化が進んでいる地域で消費が高まっている



Chaayos



Chai point

お茶／類似品の嗜好

- インドでは、茶製品は伝統的な飲料で、**インド人の64%**が茶製品を普段から好んで飲んでいる
- 茶製品ブランド、インフルエンサー、ジム、病院などで緑茶が健康に良いということを訴求していることから、意識が高い若者を中心として徐々に緑茶を飲む消費者が増えている
- また**大都市**で特に認知度が高い
- 中でも、フィットネス系の若いセレブの影響力が高く、彼らが緑茶の健康的な効果を紹介している



茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

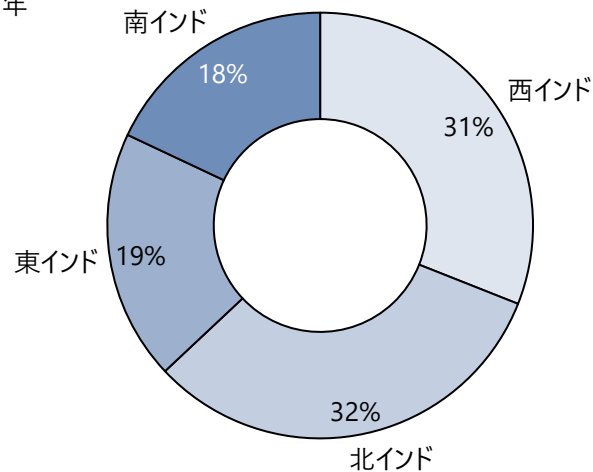
主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

インドにおける茶製品の消費パターン

インドの地域別消費量（茶製品）

2007年



茶製品の飲み方

- **家庭：** ビスケットや、塩系スナックと共に飲む
 - 朝食前や朝食時
 - 余暇時間
 - ゲスト訪問時
- **屋外：** 一般的にお茶のみで供される
 - 「Chaayos」のような飲食レストラン
 - 街中のストリートショップ
 - オフィス

消費者の嗜好

- **80%の家庭**が砂糖入りミルクティーを好む
 - インド北部と西部ではミルクティーを好む人が多い
- 健康的なライフスタイルへの意識が高まるにつれて、ミルクを入れないストレートでの紅茶の飲み方が**人気上昇**
- お茶の消費量は特に冬と祭りの時期に増加

販売チャネル

- **販売チャネルの優位性：** 地元の小規模食料品店 > モダン・リテール > エコマース
- **小売業者の宣伝と口コミ**がお茶の購入決定に大きな影響を与える

今後の動向

- インドは価格に敏感な市場であるため、リーズナブルな製品が求められる
- 健康意識が高い若者やメトロシティに在住の人々から、緑茶の需要は高まると見られる

インド市場調査（茶製品）

2022年の茶製品の需要は約1.2百万トン。現在は主に国内生産でまかなわれており、海外からの輸入は1～3%程度となっている

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

主要企業の状況
(マーケティングミックス)

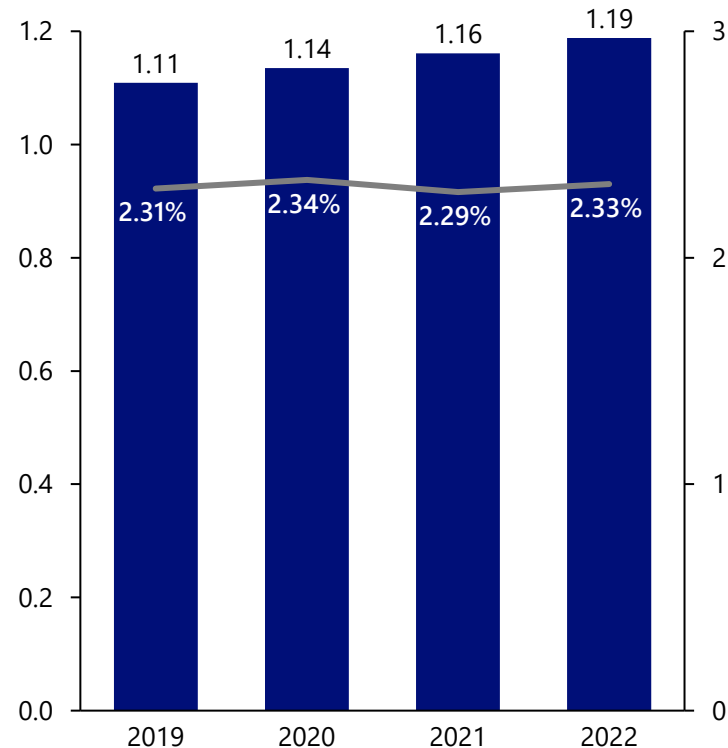
輸出拡大ヒント

需要の要約

2019-2022年：インドの茶製品需要動向（生産＋輸入－輸出）

単位：百万トン

前年比成長率（％）



インドでの需要

	主要なポイント
まとめ	- 茶製品の需要は徐々に高まっている - インドのお茶の最大の輸出先はロシア、次いでUAE
国内生産	2019年から22年にかけて、茶の生産量は1.39百万トンから1.37百万トンに減少 2020年の茶の生産量は1.26百万トンに落ち込んだ
輸入	2019年から22年にかけて、インドの輸入量は1.5万トンから3万トンへとほぼ倍増 - 輸入量はインドの消費量の1～3%
輸出	- インドの輸出は2019-22年に25.2万トンから22.7万トンに減少 2021年の輸出量は19.7万トンに落ち込んだ

2022年のインドの茶製品の生産量は約1.37百万トンで、アッサム州が総生産量の50%を占める

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

主要企業の状況
(マーケティングミックス)

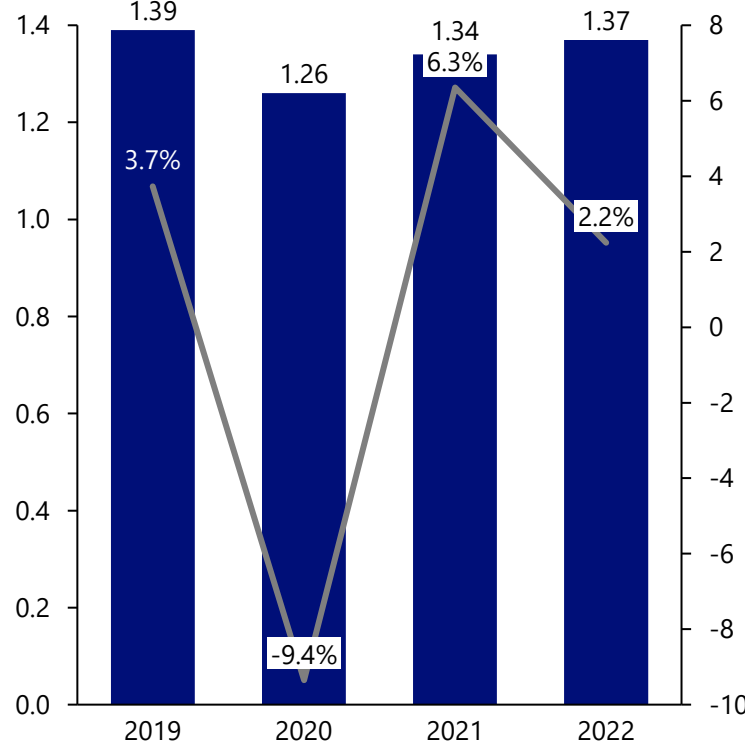
輸出拡大ヒント

現地生産

2019-2022年：インドの茶製品生産動向

単位：百万トン

前年比成長率（%）



インド国内の主要生産地

地域	生産地域の概要
アッサム州	■ 主要産地：アッサムバレー、カチャル ■ 総生産量：全体の50%を占める ■ フレーバー：モルティ ■ 種類：Assamica
西ベンガル州	■ 主要産地 - ドウアール、テライ、ダーズリン ■ 総生産量：全体の30%を占める ■ フレーバー - 麝香のようなスパイシーさ ■ 種類：Sinensis
南インド	■ 主要産地：タミル・ナードゥ州、ケーララ州、カルナータカ州 ■ 総生産量：全体の17%を占める ■ フレーバー：より濃厚な味わい ■ 種類：Sinensis

注) 残り3%はその他地域にて生産されている

インド市場調査（茶製品）

アッサム州、カルナータカ州、西ベンガル州がインドで最大の茶の生産地で、生産面積の60%以上を占めている

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

主要企業の状況
(マーケティングミックス)

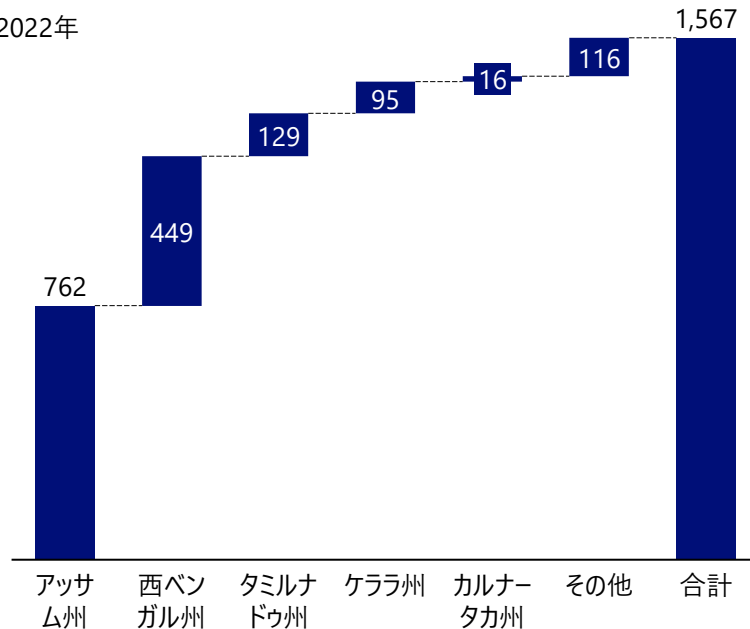
輸出拡大ヒント

現地生産

2022年：地域別生産状況

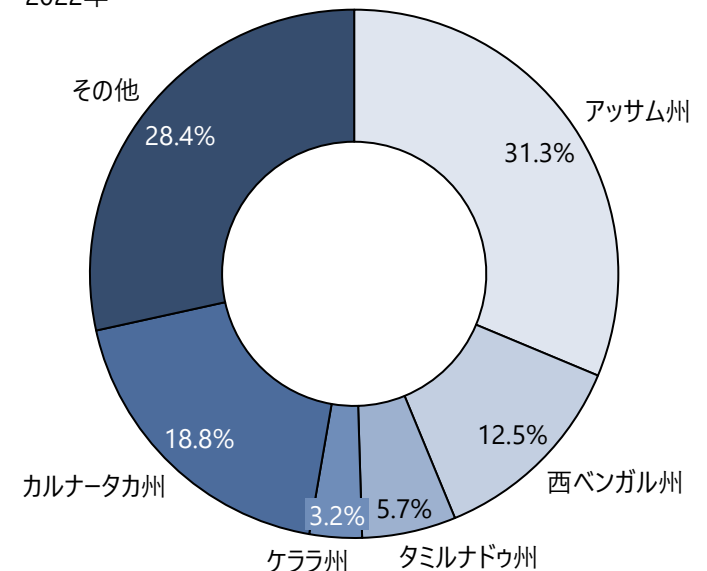
地域別の茶園数

2022年



地域別の茶の栽培面積の割合

2022年



- インド全体の茶園の約半分以上がアッサム州に存在
- インドにおける茶の栽培面積の65%は、アッサム州・カルナータカ州・西ベンガル州で占められる

インド市場調査（茶製品）

2022年のインドの緑茶生産量は約2万トンで、西ベンガル州、アッサム州、タミル・ナードゥ州が茶葉の主要供給地域である

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

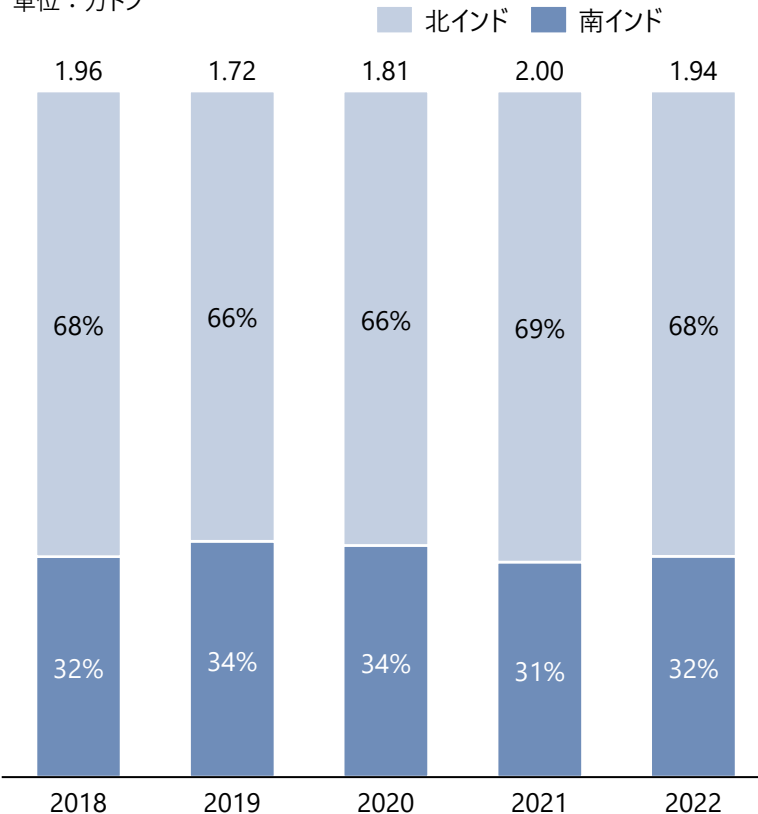
主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

国内生産

2018-2022年：地域別緑茶の国内生産量・割合

単位：万トン



主要産地

	生産地域の概要
西ベンガル州	■ 主要産地：ダージリン地方では、インド最高品質の緑茶を生産
アッサム州	■ アッサム州は世界最大の紅茶生産地域であり、その北部には緑茶の主要な産地も存在
タミル・ナードゥ州	■ 主要産地：ウーティなどニルギリ丘陵の地域
ケララ州	■ 主要産地：イドウキ県（ムンナール）、西ガーツ山脈



専門家コメント

「緑茶の生産は標高の高い地域が適しているため、インドではダージリン及びニルギリ丘陵産が多い」

インドの緑茶市場規模は約9,100万米ドルで、今後5年間は年平均成長率5%の成長予想である

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

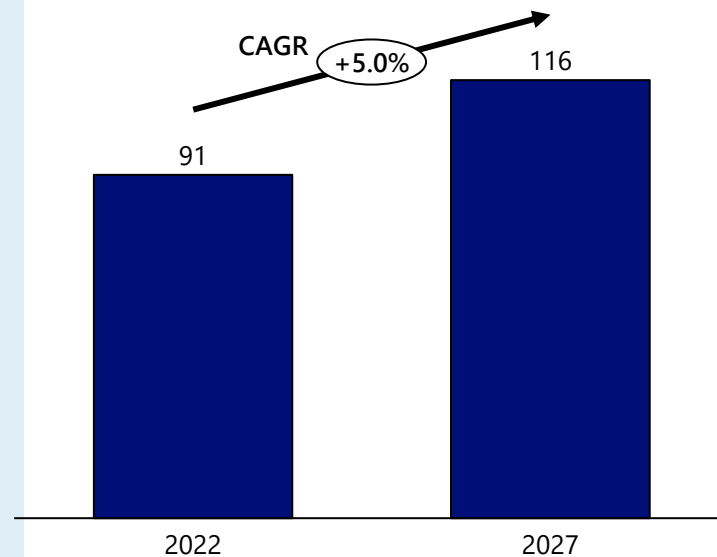
主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

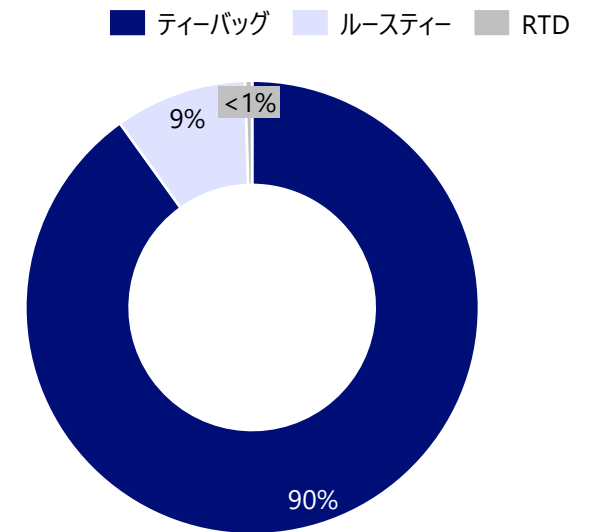
緑茶市場

緑茶市場規模

緑茶市場規模（百万米ドル）



製品タイプ別の緑茶市場割合



専門家コメント

「緑茶消費量の90%はティーバッグタイプである。
また消費者は品質への知識があまりないため、一般的に低品質な茶葉が使用されていると言われる。」

インド市場調査（茶製品）

3kg以下の緑茶製品については、ベトナムからの輸入が1,255トンと最も多い

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

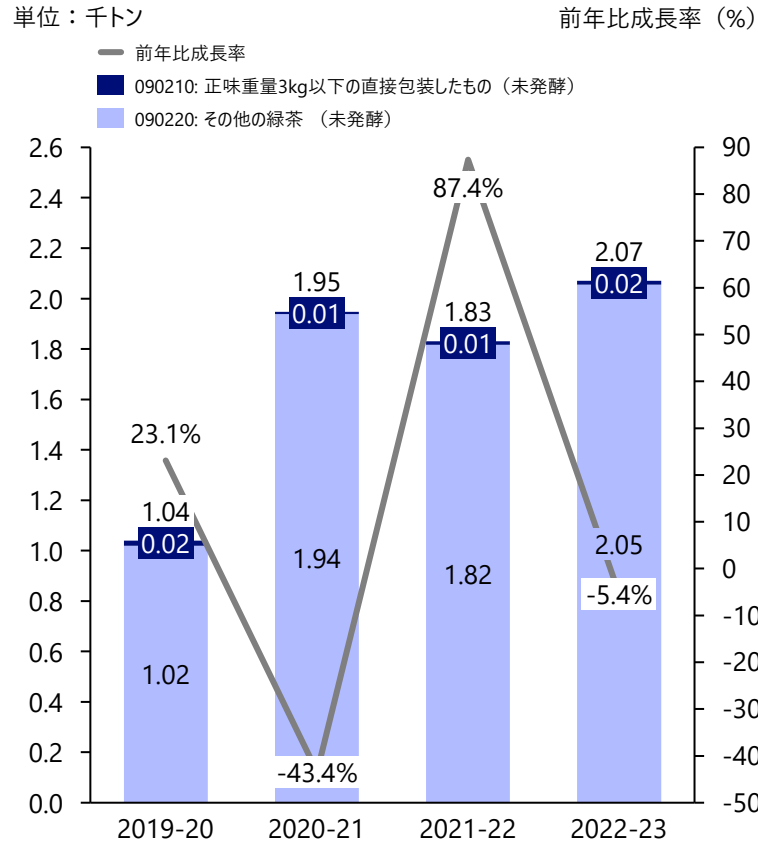
お茶に関するトレンド

主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

輸入量

2019-2023年：海外からの緑茶輸入の傾向（インド）



主な輸入国と輸入量

2021-22年の輸入量、単位：トン

HSコード090210: 正味重量3kg以下の直接包装したもの（未発酵）

国名	輸入量
ベトナム	1,255.37
中国	423.35
インドネシア	358.52
ネパール	8.77
日本	2.41

HSコード090220: その他の緑茶（未発酵）

国名	輸入量
日本	6.91
中国	3.64
チェコ	2.03
スリランカ	1.69
シンガポール	1.35

インドの茶製品は、主に小規模食料品店での販売がメインとなっている

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

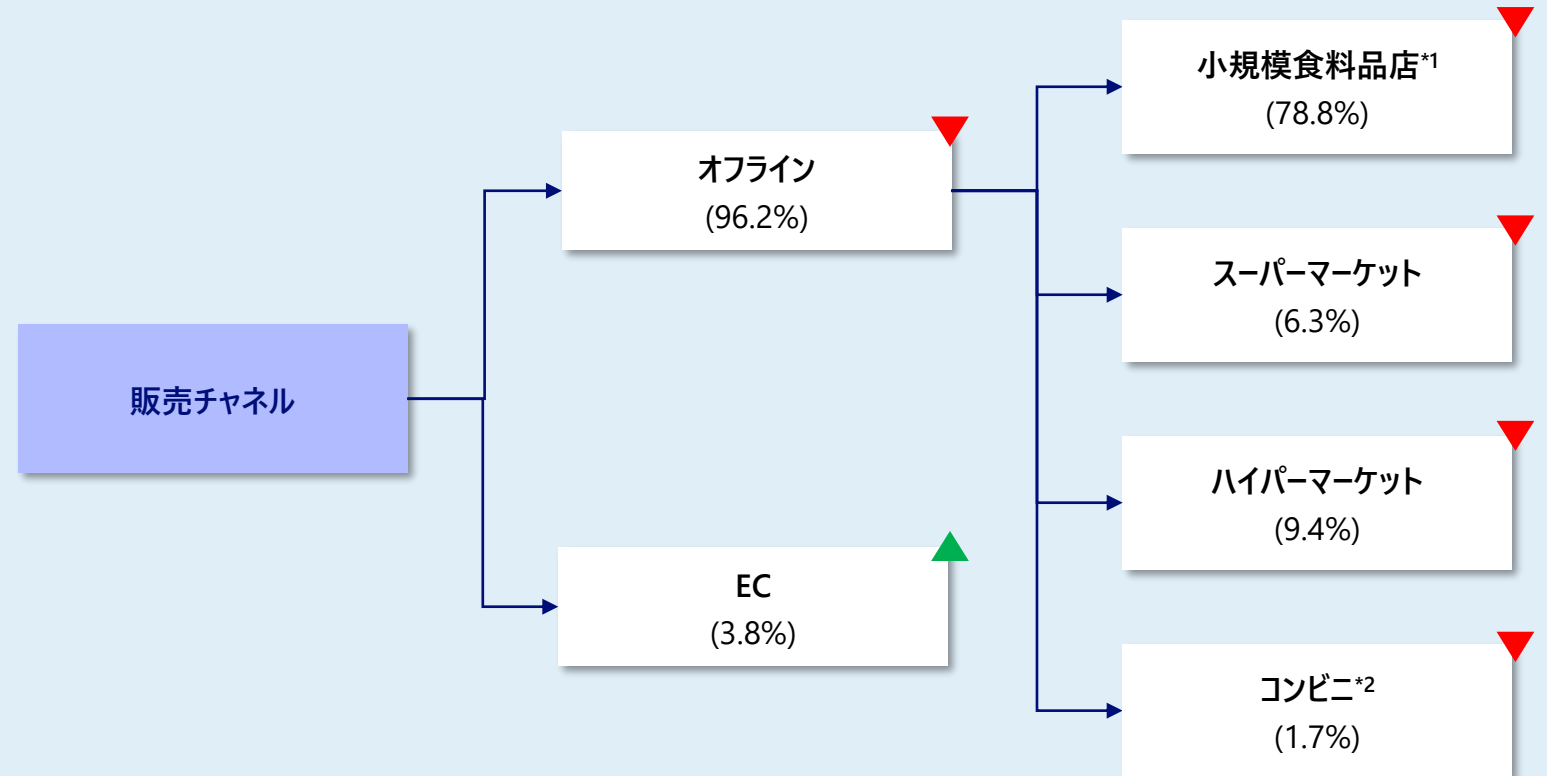
主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

販売チャネル

インドの茶製品全体の販売チャネル別構成比

凡例（前年比）： ▲ 増加 ▼ 減少



インド市場調査（茶製品）

インドでは緑茶の大半がeコマースを通じて販売されているが、カフェやQSR、施設販売など他の販売チャネルでも成長が見込まれる

茶製品に関する嗜好

需要

生産量

輸入量

輸出量

販売チャネル
(小売・外食・EC等)

お茶に関するトレンド

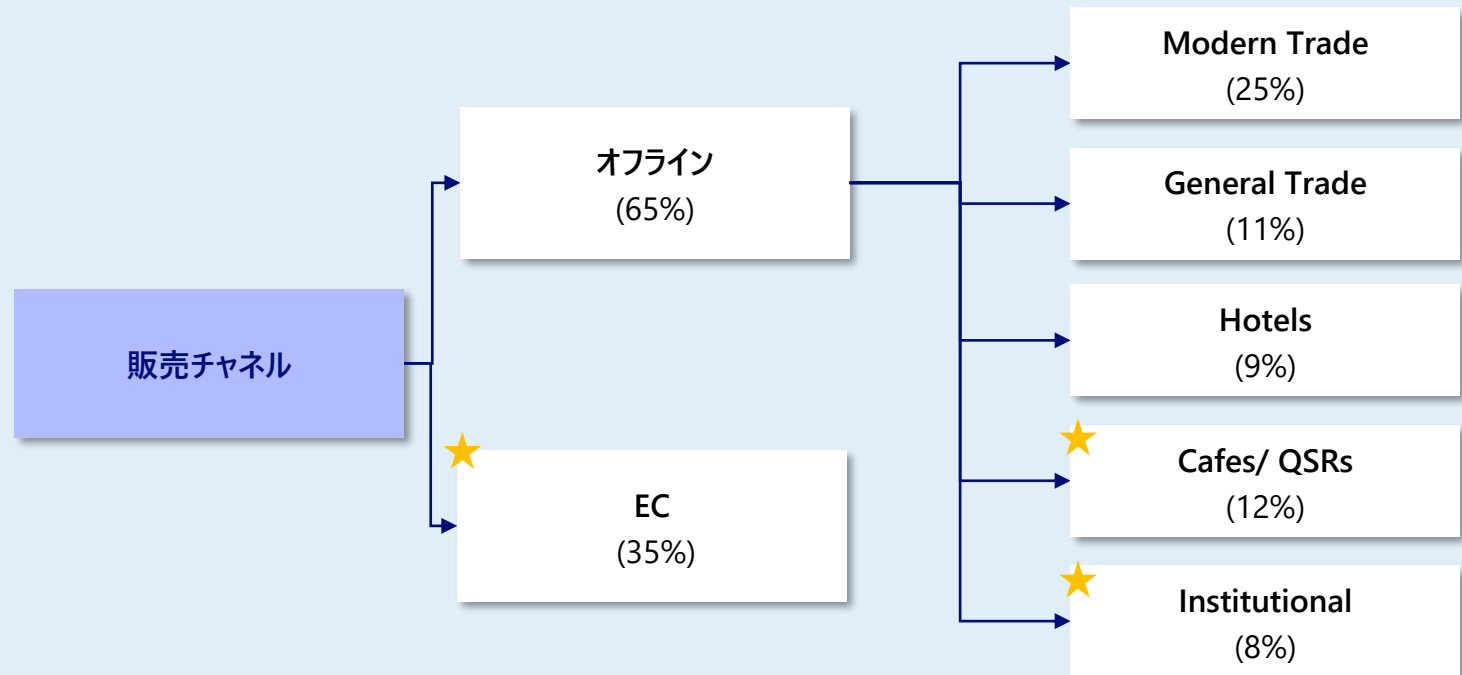
主要企業の状況
(マーケティングミックス)

輸出拡大ヒント

販売チャネル

インドの緑茶製品の販売チャネル別構成比

★ 今後成長が見込まれるチャネル



専門家
コメント

“緑茶は主にインドの高所得層に飲まれている。販売は主にオンライン・チャネルかモダン・トレード・ストアを通じて行われている。カフェやQSRは新たなセグメントであり、企業オフィスへの販売も増加している”